

平成22年度第8回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成23年3月2日（水）14:00～15:30
出席者	<p>47名／定数53名 (ファームビジネス学科) 齋藤教授、中村(正)教授、本藏教授、大竹教授、松森教授、小林(仁)教授、井上教授、木村教授、 小黒教授、森本教授、岩浪准教授、中村(聡)准教授、岩井准教授、川島准教授、須田准教授、紺屋講師 齊藤(秀)助教 (フードビジネス学科) 鈴木教授、山崎教授、池戸教授、津志田教授、石田教授、川村教授、西川教授、下山田教授、大久教授、 三石教授、堀田准教授、老川准教授、森田准教授、菰田准教授、石川准教授、金内准教授、都准教授、 木下助教、君塚助教 (環境システム学科) 加藤教授、上島教授、森山教授、北辻教授、佐藤教授、笠原准教授、神宮字准教授、原田(茂)准教授、千 葉講師、伊吹講師、高橋(信)助教、折笠助教 [欠席:] フード 鶴岡准教授、谷口助教、 環境 矢野教授、今野准教授、原田(鉦)准教授</p> <p>(事務局) 眞山参事兼総務学務課長, 半田課長補佐, 小野寺課長補佐, 深町主事</p>		
	議 事 内 容		
審議事項	<p>議事録署名人に学部長, (ファーム) 木村教授を指名した。</p> <p>(1) 第7回議事録の確認について 第7回食産業学部教授会議事録について、メールで送信済みであり、原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 人事について</p> <p>●副学部長及び、学部委員会の委員長の選出について 資料1に基づいて、学部長より説明がなされ、原案のとおり承認された。全学委員会の人事については、新理事長の意向を踏まえて作成予定であること、また、各委員会の委員については、今後学部長と委員長らで検討し、決定することが説明された。</p> <p>●学部運営委員の選出について 学部運営委員3名の選出のため単記無記名方式での投票を行った。投開票立会人に学部長、ファーム〇〇教授が氏名された。 [投票結果] 投票総数46票（有効得票44票、無効投票2票） 〇〇教授15票、〇〇教授13票、〇〇教授10票、〇〇教授2票、 〇〇教授1票、〇〇教授1票、〇〇教授1票、〇〇准教授1票 以上により、ファームビジネス学科〇〇教授、フードビジネス学科〇〇教授、環境システム学科〇〇教授の3名が学部運営委員として選出された。また、学部運営委員が、各学科長を兼任することについて、あわせて承認された。</p>		

報告事項

●昇任人事について

資料2に基づき、4月1日付けで、共通教育センター教員（食産業学部兼務）の〇〇准教授が教授に昇任することが学部長より報告された。

(3) 年度計画について

平成22年度の実績報告は、今月中、来年度の年度計画は6月まで県に提出することとなっており、平成22年度の実績報告は、現在、学部長、評価委員長、教務委員長の3名で検討し、修正をしているところである。今後、修正案を全教員に諮ったうえで、提出予定であることが説明された。

(4) 卒業認定について

教務委員長より、資料3に基づいて、ファームビジネス学科4年生52名、フードビジネス学科4年生60名、環境システム学科4年生33名の計145名について説明がなされ、ファームビジネス学科46名、フードビジネス学科56名、環境システム学科30名の計132名の卒業が承認された。

(5) 平成22年度後期の成績確認について

教務委員長より資料4に基づいて、平成22年度後期の成績について説明がなされ、承認された。

(6) 学生の身分について

学生委員長より、資料5に基づいて、休学2名、退学1名、復学3名について説明がなされ、承認された。また、授業料未納者（除籍候補者）1名について説明がなされた。

(1) 平成23年度当初予算について

学部長より資料6に基づいて、予算要求ヒアリングの結果が報告された。

(2) 平成22年度後期授業評価について

教務委員長より資料7に基づいて、平成22年度後期授業評価実施結果について、報告がなされた。

(3) 全学委員会報告

●国際センター運営委員会

国際センター長より、資料8に基づいて、報告がなされた。REW語学研修支援プログラムについて、学習奨励基金より60万円の予算があり、RMITの語学学校で夏休みに留学し英語を学ぶことを想定しており、新年度始まり次第募集をかけることが説明された。また、オーストラリア短期語学研修については、英語講義を履修している学生が対象であるが、REW語学研修支援プログラムは全学生を対象としていることが説明された。

●地域連携センター運営委員会

資料に基づいて、地域連携センター長より、当初予算ヒアリング結果、高大連携の模擬講義における謝金・旅費の取り扱いについて報告が行われた。高大連携の模擬授業等の謝金や旅費の取り扱いについては、謝金や旅費が相手先よりでない場合は、地域連携センターの予算より旅費を支出することが説明された。また、地域連携センターでは、大学として組織的に共同研究・受託研究を受け付けており、商品開発やマーケティング調査、経営

戦略、デザインも含め行うこと計画している。宮城大学として組織的に学部の枠を超えて受けていくことで、他の大学との差別化をしていくことが説明された。現在、木の屋石巻

水産、白石食品工業、高德海産から申し出があり、地域連携センターで受ける予定であり、各先生方に協力を依頼することが説明された。

●研究委員会

〇〇教授より資料9に基づいて、今年度の研究委員会審査結果について、科学研究補助金の学部別採択状況について報告がなされた。

(4) 学部委員会報告

●評価委員会

資料11に基づき、評価委員長より、教員評価の今後のスケジュールについて説明がなされ、各教員に協力依頼がなされた。

●農場委員会

資料12に基づいて、農場長より報告がなされた。平成23年度坪沼農場圃場・施設利用について6件の申請がなされ、承認されていることが報告された。

●教務委員会

教務委員長より、資料13に基づいて、平成23年度前期の時間割について、説明が行われ、各教員に確認をしてもらい、修正が必要であれば、教員間で調整したうえで、連絡をもらいたいと依頼がなされた。

●学生委員会

学生委員長より、就職内定状況について、資料14に基づいて報告された。卒業証書・学位記代表受取者については、ファームビジネス学科は〇〇〇〇さん、フードビジネス学科は〇〇〇〇さん、環境システム学科は〇〇〇〇さんになること、学生表彰については、学長奨励賞として、マルシェジャポンせんだい支援ボランティアチーム、醸造研究サークル、野菜ソムリエの〇〇〇〇さんの2団体1個人が表彰を受けることが報告された。

また、平成23年度前期開講のキャリア開発について、外部講師の先生が講義をし、その後の講義で担当教員より指導してもらうため、外部講師の講義に出来れば担当教員の先生方にも出席頂いたうえで、翌週の講義を担当してもらいたいと説明が行われた。産業実習については、4月より受け入れ企業の申込みが始まるため、新規のインターンシップ先があれば、先生方より紹介いただきたいと依頼がなされた。

●入試委員会

入試委員長より、2月25日の開催した前期日程試験について、59名の募集に対し、246名の出願があり、当日の受験者が234名で、倍率は4.0倍となったことが報告された。今年度の試験より数学が理科と並ぶ選択として加わったことが説明された。なお、合否判定会議の結果、ファームビジネス学科20名、フードビジネス学科25名、環境システム学科20名の合格が決定したことが報告された。また、3月3日に入試実施本部会が開催される予定であり、入試問題漏洩に対する対策についても検討することが説明された。

●研究紀要委員会

研究紀要委員長より、紀要について12編の論文の受理しており、現在印刷中であることが報告された。

(1) 教育研究審議会委員について

教育研究審議会委員について、学部で2名を投票で決定する必要があり、全学委員会の

その他

委員長・センター長の人事が決定後に、臨時教授会を開き、投票を行うことが学部長より説明された。

議事録署名人

池戸 重信 印

木村 和彦 印